



きぬた

NPO 法人埼玉県キャンプ協会, 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3551 浦和大学 中島研究室

きぬた 162 号

(1 ページ)

- OPINION

ゼロからイチにするということ
～川辺の体験から考える野外教育の可能性～

(2 ページ)

- イベントリポート
会員交流キャンプ

- イベントインフォメーション
秋のイベント情報
キャンプインストラクター
養成講習会
会員研修会

OPINION

会員から届いたキャンプの話題や体験談、ご意見などを紹介します。

ゼロからイチにするということ ～川辺の体験から考える野外教育の可能性～

水辺のアクティビティといえば、海水浴やシーカヤック、スキーバーディングなど、海を舞台にしたスケールの大きな体験を思い浮かべる人が多いかもしれません。確かに、雄大な海での体験は、日常を離れた開放感があり、多くの魅力を備えています。

しかし、私の住む埼玉県は、全国で数少ない「海なし県」です。海までは車で 2 時間以上かかることもあります、気軽にアクセスできる自然として、県民にとっては「川」がより身近な存在です。事実、埼玉は「川の国」とも呼ばれ、県内を流れる河川の総延長や流域面積は全国でも上位にあります。私が専門とする野外教育の視点からも、この地域特性は非常に興味深いものです。

私の住む埼玉県飯能市にある入間川流域の飯能河原は、夏になると都心から多くの人が訪れる人気スポットです。我が家のある子どもたちも川が大好きで、週末になれば「今日も川に行こう」と目を輝かせます。8 月中、何度も足を運ぶうちに、地元の自然が多くの人々に開かれた場となっていることを改めて実感しました。

ただ、その一方で、専門家として見逃せない光景も目にします。裸足で川に入る子ども、ライフジャケットを着けずに深みへ向かう姿。飯能河原は一見穏やかに見えますが、岩場が多く、場所によっては身長 182cm の私でも足が届かないほど深いポイントもあります。川遊びには特有のリスクがあり、ちょっとした油断が重大な事故につながりかねません。

水難事故の件数はかつてに比べ減少傾向にありますが、近年は横ばいが続き、全国では年間約 2,000 件前後の水難事故が報告されています。埼玉県内でも令和 6 年に 11 件の水難事故が起きています。そうした現状をふまえ、私は現場で見かけた子どもたちに、時折声をかけるようにしています。「泳げる?」「ライフジャケット、持ってきてる?」といった何気ない問い合わせですが、それがきっかけで「川には危険がある」という認識が芽生えるのであれば、それだけで価値があると思っています。

この「気づきのきっかけ」を生み出すことこそ、野外教育の本質ではないでしょうか。体験を通じて、はじめて得られる理解や気づきがあります。教室でどれだけ話を聞いても、自然の冷たさ、川の流れの強さ、石のゴツゴツした感触はわかりません。実際にそこに身を置いて感じることで、子どもたちの意識はゼロからイチへと確実に動き出します。

また、こうした自然体験は、環境への関心にもつながります。「川で遊んだことがある」、「自然の中で過ごした記憶がある」…。それだけで、自然への親しみや自然を守りたいという気持ちは大きく育ちます。もしかすると、今、川辺ではしゃぐ子どもたちの中から、将来の環境研究者や自然保護のリーダーが育っていくかもしれません。

42 歳になった今、自分の専門性をいかしながら、次の世代のためにどんな自然を残していくか、何を伝えていくべきかを強く意識するようになりました。自然の中での一言が、誰かの「ゼロ」を「イチ」に変える。その連鎖が広がれば、きっとより良い未来につながっていくと信じています。

今日もまた、私は川へ向かいます。遊びに来た子どもたちの中に、次の「気づき」が生まれることを願いながら。

NPO 法人埼玉県キャンプ協会理事 井上望



イベントリポート

会員交流キャンプ

2025年7月5日(土)～6日(日)

山邊の里キャンプ場

キャンプが大好きな子どもと大人、あわせて15人が集まり、1泊2日の会員交流キャンプを実施しました。

初日のメインイベントは魚釣りです。堀口会長が用意した笹竹を釣り竿にして、参加者がそれぞれ自分の仕掛けを作りました。釣り竿の先端には、たこ糸を使ったロープワークを施し、巻き結びやトートラインヒッチでしっかりと固定しました。釣り糸はチチワ結びで取り付けました。

オリジナルの釣り竿が完成したら、いざ川へ。餌は川にいる虫を捕まえて、針に付けました。釣り糸を垂らしてしばらくすると、コツをつかんだ参加者たちから次々と歓声が上がります。アブラハヤやカワムツなど、30匹以上を釣り上げ、唐揚げにしていただきました。自分で釣った魚の味は、格別でした。

夕食は、みんなで協力して、夏野菜のパスタ、コンソメスープ、ポテトサラダ、大根サラダ、きゅうりの浅漬けを作り、お腹いっぱい食べました。

夜の情報交換会では、焚き火を囲んでキャンプ談義に花が咲き、心温まるひとときを過ごしました。

翌日は、「魚」をテーマにしたストーンペインティングで、思い出に残る作品づくりを楽しみました。どれも個性的で素敵な作品ばかりでした。最後には恒例の大抽選会も行われ、素敵なお土産が参加者に手渡されました。

夏の始まりを存分に満喫した、充実の2日間となりました。



イベントインフォメーション

秋のイベント情報

詳細と参加お申込みは、埼玉県キャンプ協会のホームページでお知らせします。
皆様のご参加をお待ちしております。



埼玉県レクリエーション大会 in ところざわ

10月19日(日)

所沢航空記念公園



親子キャンプ

10月25日(日)～26日

神川げんきプラザ

神川サンクスフェスタ

11月30日(日)

神川げんきプラザ



ブッシュクラフト入門

12月7日(日)

神川げんきプラザ



キャンプインストラクター養成講習会

【理論講習】

日時: 10月5日 10:00～17:00

場所: 蓼田市中央公民館

【実技講習】

日時: 10月12日 10:00～13日 16:00

場所: 加須げんきプラザ

※申し込み方法は、HPでご確認ください。

会員研修会

今年度は、オンライン形式で研修会を行います。キャンプのもつ現代的意義を学びます。是非、ご参加ください。

日 時: 11月1日(土) 13:30～15:00

タ イ プル: 「キャンプを通して学べること

～子どもの目線から考えてみよう～」

講 師: 高橋徹先生(岡山大学教育学部)

参 加 費 用: 無料

※申し込み方法は、HPで確認してください。



NPO法人埼玉県キャンプ協会

<http://saitama-camping.jp/> E-mail saitama@camping.or.jp

〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3551 浦和大学 中島研究室

ホームページはこちら→

